

形 式：皮膚がん MM-CQ5-2

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Highly sensitive detection of melanoma at an early stage based on the increased serum secreted protein acidic and rich in cysteine and glypican-3 levels.	
	論文の日本語タイトル	MM-CQ5-2	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	CQ6 文献 2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	16299239	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Clin Cancer Res	
	雑誌 ID		
	巻	11	
	号	22	
	ページ	8079-88	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2005 年 11 月	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Ikuta Y	熊本大学
その他著者 1		Nakatsura T	熊本大学
その他著者 2		Kageshita T	熊本大学
その他著者 3		Fukushima S	熊本大学
その他著者 4		Baba, H	熊本大学
その他著者 5		Nishimura, Y	熊本大学
その他著者 6		Ito S	藤田保健衛生大学
その他著者 7		Wakamatsu K	藤田保健衛生大学
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	早期メラノーマの診断に役立つ腫瘍マーカーを明らかにする	
	研究デザイン	横断研究	
	セッティング	熊本大学病院	
	対象者	メラノーマ、巨大先天性母斑、健常人	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 1 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	血清 SPARK, GPC3, 5-S-CD 値	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	メラノーマの病期	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	血清の可溶性 SPARK 値はメラノーマ患者 109 例中 36 例(33%)で、 正常人対照の平均値+2SD を超える異常高値を示し、そのうち 19 例 は Stage 0～Ⅱの早期例であった。血清 GPC3 値とあわせると Stage 0～Ⅱの早期例 75 例中 47 例（66.2%）で、いずれかの異常高値が認 められた。	
	結論	GPC3 と GPC3 は早期メラノーマの診断に役立つ血清腫瘍マーカー であり、両者の併用により約 2/3 の早期メラノーマ症例で血清診断が 可能である。	
	備考		
	レビューワー氏名	高田 実	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 興味深い研究成績であるが、早期メラノーマの多くは臨床所見や病 理組織所見で容易に診断されるので、その臨床的有用性は疑問。 メラノーマとの鑑別が難しい Spitz 母斑のデータがあれば、診断問題 例の補助診断法として用いられるかもしれない。	